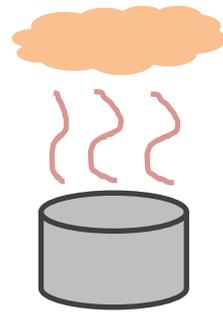


施工時の注意

プリベントCRの施工につきましては下記の内容にご注意ください

 <p>ワイヤーブラシ</p>	<p>下地処理はワイヤーブラシやハンマー等で鉄部の浮き錆を十分除去し、後、電動のカップワイヤーを前面に当て、劣化塗膜、ホコリ、油分は十分除去してください。</p> <p>施工工程： 下地処理(3種ケレン程度及び洗浄)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">CRシリーズ塗布</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">上塗り(仕上げ)</p>
 <p>硬化剤 1 主剤 2</p> <p style="text-align: center;">重量比!</p> <p>ゆっくりと</p>	<p>プリベントCRは二液性のエポキシ樹脂です。主剤と硬化剤は重量計で、主剤2に対して、硬化剤を1の割合で、できるだけ泡が出ないようにゆっくりと2~3分、十分攪拌してください。泡が発生した場合は少し置くと泡が徐々に消えます。 (攪拌が不十分だと異常硬化の原因となりますので注意をしてください)</p>
 <p style="text-align: center;">気温 20℃以上</p>	<p>気温 20℃以上で作業をされる場合は、樹脂の温度が異常に上昇し、急激に硬化をする場合がありますので十分注意をしてください。 温度の上昇を避けるには口の広い浅い容器に移してご使用ください。 また、少量ずつ混ぜて様子を見てください(300gずつ程度)。大量に混ぜるとすぐに硬化が始まります。</p> <p>※炎天下は塗付面の鋼材温度が非常に高くなり、異常硬化の原因となる可能性があるため、気温が安定する夜間の施工もご検討ください。</p>
<p>可使時間</p>	<p>混ぜてから使用できるのは、気温20℃の時で、約50分程度です。</p>
<p>保管は日陰へ</p> 	<p>保管は、夏場は日陰の涼しい場所に保管してください。</p>

溶剤の使用	シンナー・溶剤等は一切添加しないでください。 → 後日、硬化不良の原因になります
塗布量	プリベントCRは、 1kgにつき、7～8m ² を目途に塗布してください。 (120g/m ²)
養生	硬化前に雨や、水がかからない様に養生をしてください。 湿度 85%以上での使用は避けてください。 (白化した不良塗膜になるおそれがあります→白化した部分はサンドペーパーで除去し再度増し塗りしてください)
保護	紫外線から守るため、上塗りは必ずしてください。
低温時	最低気温が 5℃以下では硬化しません。 基本が5℃以上になれば硬化が進行します。
	塗布は、ハケ・ローラーで施工してください。 ハケ・ローラーの洗浄にはエタノールが使用できますが、 基本的には1日で使い捨てとお考えください。
その他	缶の注意書きを十分お読みください。